

平成30年度 一般選抜中期日程/国際商学科 英語
出題の意図と解答の傾向

本年度は英語を実際に使用する能力が身についているかを見るために設問も全て英語とした。

I (160点)

問1 (20点)

【出題の意図】

全体の文章の流れに即して必要となる基本的な英単語を選び、文法的に適切な形にして答えることができるかを問う問題。この問題には文章読解力と文法能力の両方が求められる。

【解答の傾向】

問題 A、B、C、D の四問のうち、相対的に正答率が高かったのは B と C であった。D の誤答率をもっとも高かった。特に、are watching としているものが全体の 5%ほど存在した。C については、be 動詞(is、were など)を前に付けたり、have を付けて完了形にするなどの誤答が 5%ほど存在した。また、設問に数字で書いてはいけないと明示してあるにもかかわらず、数字を回答欄に書いているものが数%存在した。問題 B と C については、ing と ed を付ける際に、最後の子音を重ねて hunting、developped としたものが一定数存在した。(huntingの方が多かった)さらに問題 A の書き出し p を明らかに大文字の P としたのもわずかに存在した。

問2 (30点)

【出題の意図】

指示語句“this”が指すものをきちんと読み取り、受動態、関係代名詞含まれる文を理解した上で、正確な日本語にできるかどうかを問う問題。

【解答の傾向】

指定された部分を和訳する問題であり、this が指している内容を明示せよとの但し書きがついている。正確に訳出しつつ、日本語の文章としてきちんと成立しているものを評価した。なお、this が指しているのはゴルフであり、多くの回答では訳出できていた。しかし、指している内容をルールと誤訳したもの、「これ」、「あれ」としてそのまま使用し、きちんと内容を明示できていないもの、あるいは全く訳していないものなどが散見された。

また、文中の shepherds は注がついていて、そこに「羊飼い」としての内容が記載されている。注を見逃したのか訳出されていないものがあつた。さらには sheep を船 (ship) や睡眠 (sleep) などと勘違いした訳などが見受けられた。その他の間違いポイントとしては、SNS の影響か account を「アカウント」とそのまま表記したもの、「会計」、「住所」などと表記するものがあつた。他には、by hitting stones into を、「穴に石を当てる」と訳すもの、あるいは「穴を打つ」というように訳したものがあつた。数は多くなかったが、複数確認された訳として、bored を「裸の」、invent を「投資」とするものがあつた。

問3 (30点)

【出題の意図】

下線部 (2) sports is a substitute for war. とは具体的にどういうことなのかを、当該段落の内容を正確に読み取って答えられるかを問う問題。

【解答の傾向】

日本語で説明せよという問いに対し、数名が英語で解答していた。中には日本語で書いていけば正解のものもあつただけに惜まれる。スポーツは戦争の代用であると直訳しているだけのものや、フットボールは「戦闘」、対戦相手は「敵」、圧勝は「虐殺」といった軍事メタファーに関することを指摘する解答が多かった。正解のヒントを提示していると思われる文にある evolve という単語を「開発」と訳しているものも多く見られた。今日の武

器は剣や弓矢よりテニスラケットやサッカーボールであると解答しているものも多く見受けられた。

問4 (30点)

【出題の意図】

下線部 (3) の“this”が指す内容を英語で具体的に指摘できるか問う問題。

【解答の傾向】

説明する文が不明瞭なもの、余分な付け足しがあるもの、自分の英語で説明しているが説明不明瞭かつ説明不足なもの、英語ではなく日本語で答えを記入したものなどが散見された。また、it means that、it indicates that ~の三単現のsが抜けているもの、males、females、competeをそれぞれmake、femail、completeなどとしたスペルミス、males、femalesの複数形のsが抜けているものなども見受けられた。

問5 (30点)

【出題の意図】

本文の流れを把握した上で、文中にうまく適合する英文がセンテンスレベルで文法的に書けるかどうかを問う問題。

【解答の傾向】

全体的に見て50%前後の得点をする者が多かった。「~するにつれ」はasを使用して、主節と従属節の二つに分けて考えると書きやすいと思われるが、どちらかが不完全であるものが多く見受けられた。また単純な現在形、過去形を用いて文を作成した者が多く、現在完了形をうまく使用できているものは少なかった。さらに the more ~, the more ~という構文を使用した者が多くいたが、これは「~すればするほどますます~だ」という意味で、当該問題が意図するところからはズレる。単語的には「報酬」rewardsの代わりに、salaries、benefitsなどを使用した者、「享受する」enjoyの代わりに直接的にgain, accept, receive, getなどを使用しているもの、またそれらの動詞が正確な受動態になっていないものなどが多く見受けられた。また「考え方」attitudesに対して、how to think, way to thinkなども散見された。

問6 (10点)

【出題の意図】

筆者によるとどのセオリーが最も説得力があるかを答えさせることにより、文章全体を注意深く読んでいるかどうかを問う問題。しっかり読み込むと、どのセオリーがすぐれているという記述はどこにもなく、文章の最後に“But which is most persuasive? You decide!”という表現があるから答えは明白である。

【解答の傾向】

正答率は80%程度であると思われるから、よく注意して読み取れていたことがわかる。正解の番号ではなく語句で示すようにとの指示があったにも関わらず番号で答えたものが少数いた。

問7 (10点)

【出題の意図】

セオリー2、すなわちスポーツの起源はハンティングであるとするものにもっとも関係深いスポーツを選ぶ問題である。セオリー2がきちんと読み取れていれば正解を見つけるのに苦勞することはないであろう。

【解答の傾向】

正答率は80%程度であると思われるから、よく注意して読み取れていたことがわかる。正解の番号ではなく語句で示すようにとの指示があったにも関わらず番号で答えたものが少数いた。

II (40点)

【出題の意図】

この問題を通じて受験生は意見や理由を明確に述べられるかどうか、限られた時間内にアイデアを十分に展開させられるかどうか、段落を論理的に構成できるかどうか、また受験生の英語が十分に通じるかどうかを見た。「内容」、「構成」、「言語力」を中心に、40点満点で解答を総合的に採点した。

「内容」については、意見や理由、詳細を十分に説明し、論理的に展開させているかを中心に評価した。「構成」については、論理的展開になっているか、そうさせるための **discourse markers** や接続詞が正確に尚且つ効果的に使われているかどうかを中心に評価した。「言語力」については、解答を読んで意味が理解できるかどうか、文法・語彙・綴り・句読点が正確に適切に使われているかどうか、受験生は難しい言い回しや語彙を使おうとしているかどうか、使った場合はどのくらい正確に使えたかなどを中心に評価を行った。

【解答の傾向】

よく書けている解答が多かった。解答時間が限られているにも限らず、しっかりとした意見や理由を紹介し、その理由を完璧にではなくても、読む側がある程度満足できるレベルまで展開させている解答が多かった。ただ、言語力（構成と重なるところもあるが）においては多くの文法や語彙、綴りの問題があり、目立った問題点を以下で簡単に紹介する。

①綴りの間違い

綴りの間違いが非常に目立った。様々な種類の間違いがあったが、**trend** を **tend**、**message** を **massage**、**collect** を **correct** のようなスペルミスによって語彙の意味が変わってしまうというミスも多かった。

②時勢の間違い

最も目立った間違いとして、意味上時勢が未来形になっていないといけないのに現在形になってしまっているという例があった。

③主語や目的語が不明確

主語や目的語が不明確になっている解答が多かった。主な原因は代名詞の不適切・間違った使用をあげられる。

④「もし」の **if** や「～することで」の **by** が抜けている

⑤前置詞の間違った使用

⑥語彙の間違い

意味が近い語彙の混乱、綴りの近い語彙の混乱、適切な語彙が分からないのでことばを適当に創作するケースなどが多く見られた。ここでいくつかの例を挙げる（前者が正しい語彙、後者が間違って使われた語彙：**quickly / early**、**election / selection**、**politics / polite**、**citizens / civil (civilians)**、**young people (youth) / youngers (youngen)**)

⑦接続詞や **discourse markers** の不適切・間違っている使用

a) 何でも **and** を使って文章をつなげようとしている解答

b) **because** の間違った使用

(**so / therefore / as a result** を使わないといけないのに **because** を使っている)

c) **now** が適切なのに **now that** を使っている解答

⑧大変気になる問題が **Topic Sentence** や **Concluding Sentence**（意見を書く部分）の文章構成だった。問題文の“**more and more politicians are using social media**”と“(Do you think) **this is a positive (or) negative trend**”の部分を文法的にどうつなげて文章にすればよいか苦労した受験生が多かった。ここではいくつかの例をあげる。

A. 文法的に間違っていないが、意味が変わってしまう表現使用例

a) I agree that more and more politicians are using social media.

→ソーシャルメディアを利用している政治家が増えているという指摘が正しいと思う／私も、ソーシャルメディアを利用している政治家が増えていると思う、という意味になってしまう。

b) I think using social media for politicians is a positive trend.

→政治家のためにソーシャルメディアを使うことは良い傾向だと思う、のような意味になってしまう。

B. 文法的に間違っている表現の使用例と正しい表現方法の例

a) I think it is a positive trend to be used social media by politicians.

→ I think it is a positive trend for social media to be used by politicians.

→ I think it is a positive trend for politicians to use social media.

b) I think that politicians are using social media is a positive trend.

→ I think (that) it is a positive trend that politicians are using social media.

→ I think (that) the use of social media by politicians is a positive trend.

c) I think what more and more politicians are using social media is a positive trend.

The thing more and more politicians are using social media is a positive trend.

→ I think the situation that more and more politicians are using social media is a positive trend.

→ The fact that more and more politicians are using social media is a positive trend.

d) Being used social media by more politicians is great.

→ Politicians' (increasing) use of social media is great.

→ The use of social media by more politicians is great.

→ The fact that social media is being used by more politicians is great.